トレース ルート ユーティリティの使用

目次

[はじめに](#)
[前提条件](#)
[要件](#)
[使用するコンポーネント](#)
[表記法](#)
[Trace Route ユーティリティ](#)
[関連情報](#)

はじめに

トレース ルート（tracert）ユーティリティを使用すると、伝送中のネットワーク パケットを表示して、そのパケットが宛先に到達するのに必要なホップ数を決定することができます。 このドキュメントでは、Cisco Intelligent Contact Management（ICM）環境でトレース ルート ユーティリティを実行する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- ICM
- Microsoft Windows ネットワーキング

使用するコンポーネント

この資料に記載されている情報は ICM のすべてのバージョンに基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。 このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。 稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『シスコ テクニカル ティップスの表記法』を参照してください。

Trace Route ユーティリティ

ICM ノード間の時機を得たおよび信頼できる接続を確認するために Trace Route ユーティリティを使用できます。 **ping コマンドが**要求タイムアウトを示す場合またユーティリティを使用できます。 **ping コマンド**に関する詳細については、PING ユーティリティ使用状況を参照して下さい。

Trace Route ユーティリティはパケットがリモートコンピュータまたはコンピュータからの宛先に奪取 する ルートを判別します。 ユーティリティはホップ、また、ネットワーク パスで、ルートが壊れていたりまたは不正確であるデバイス IP アドレスの数を表示します。

Trace Route ユーティリティがうまく働くとき、メッセージ 見ます。 トレース ルートが完了しない場合、ローカルと遠隔ノード間にネットワーク障害があります。 ほとんどの場合、問題はネットワーク パスにある IP ルータまたはハブなどのネットワーク デバイスです。 このイベントでは、LAN 管理者に連絡し、トレース ルートの各ホップを提供して下さい。

このセクションの出力例は接続の成功を表示します。 Microsoft OS 環境の Trace Route ユーティリティを開始するために **tracert コマンドを**発行して下さい。

```
C:\>tracert 172.30.8.28

Tracing route to 172.30.8.28 over a maximum of 30 hops:

  1   <10 ms   <10 ms   <10 ms 161.44.240.2
  2   <10 ms   <10 ms   <10 ms 172.24.72.2
  3    20 ms    10 ms   <10 ms 171.71.0.25
  4    10 ms   <10 ms    10 ms 171.69.209.4
  5    71 ms    80 ms    70 ms 171.68.27.253
  6    80 ms    70 ms    81 ms 198.92.1.140
  7    80 ms    90 ms    70 ms 171.68.0.193
  8    80 ms    90 ms    70 ms 172.30.7.39
  9   141 ms   150 ms   130 ms 172.30.15.30
 10   141 ms   140 ms   160 ms 172.30.8.28

Trace complete
```

tracert コマンドのための有効なパラメータを見つけるために、Microsoft Windows のヘルプ ファイルをチェックして下さい。

関連情報

- PING ユーティリティ使用
- テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems